

元気!長生き!



# News Release

2023年7月6日

各位

太陽生命保険株式会社  
代表取締役社長 副島 直樹



## 太陽生命、「東京建物株式会社」が発行する 「サステナビリティボンド」への投資を実施

T&D保険グループの太陽生命保険株式会社（社長 副島直樹、以下、「当社」）は、ESG投資の一環として、東京建物株式会社が発行する「サステナビリティボンド」（以下「本債券」）への投資を決定いたしましたのでお知らせいたします。

本債券の発行による資金調達は「八重洲・日本橋・京橋エリア（八日京エリア）における、社会課題解決に貢献するまちづくり」において、以下の適格クライテリアを満たす社会的課題の解決に資するソーシャルプロジェクト及び環境改善効果のあるグリーンプロジェクトの双方に係る取得・建設資金または同資金のリファイナンス資金に充当される予定です。

なお、本債券のフレームワークは、ICMA（International Capital Market Association/国際資本市場協会）が定義するサステナビリティボンドガイドライン2018等に則しており、第三者評価機関である株式会社日本格付研究所（JCR）より「JCRサステナビリティファイナンス・フレームワーク評価」において最上位評価である「SU1（F）」を取得しております。

### <概要>

発行体：東京建物株式会社

名称：東京建物株式会社第34回無担保社債  
社債間限定同順位特約付(サステナビリティボンド)  
(JCR格付：A)

発行総額：200億円

償還期間：10年

SDGs：本債券によって調達された資金は、同社の事業を通じて、SDGsの下記目標の達成に貢献します。



当社は、2007年3月に日本の生命保険会社として初めて「責任投資原則（PRI）」<sup>(※)</sup>に署名し、環境（E）、社会（S）、企業統治（G）の課題に十分配慮し、持続可能な社会の実現に向けた資産運用を行っています。今後とも、責任ある機関投資家として、「T&D保険グループESG投資方針」に基づき、事業活動を通じて社会的課題の解決に貢献する取組みを進めてまいります。

以上

(※) 責任投資原則(PRI=Principles for Responsible Investment)とは、2005年に当時の国連事務総長であったコフィー・アナン氏が金融業界に対して提唱した原則です。投資の意思決定プロセスや株式所有方針の決定に際して、環境・社会・企業統治(ESG)の課題を考慮し、受益者のために、より優れた長期的な投資効果と持続的な金融市場を実現していくための行動規範です。

さあ、保険の新たな元へ。

T&D 保険グループ



太陽生命保険株式会社 広報部  
東京都中央区日本橋2-7-1